

**製品名: FGR マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80714**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	56kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FGR
別名	SRC2; c-fgr; c-src2; p55c-fgr; p58c-fgr
遺伝子 ID	2268.0
SwissProt ID	P09769
免疫原	大腸菌で発現したヒト FGR の精製された組み換え断片。

**背景**

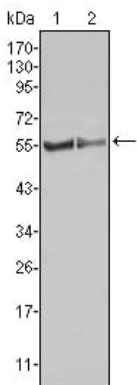
FGR: ガードナー・ラシードネコ肉腫ウイルス (v-fgr) 癌遺伝子ホモログ。SRC2、c-fgr、c-src2、FLJ43153、MGC75096、p55c-fgr、p58c-fgr としても知られる。タンパク質チロシンキナーゼ (PTK) の Src ファミリーに属する。コードされるタンパク質は、ミ

リスチル化およびパルミチル化のための N 末端部位、PTK ドメイン、そしてそれぞれリン酸化チロシン含有モチーフおよびプロリンリッチモチーフとのタンパク質間相互作用を媒介する SH2 および SH3 ドメインを含む。このタンパク質は細胞膜ラッフルに局在し、 $\beta 2$  インテグリンシグナル伝達経路によって引き起こされる細胞遊走および細胞接着の負の調節因子として機能する。エプスタイン・バーウイルス感染は、この遺伝子の過剰発現を引き起こす。同じタンパク質をコードする、複数の選択的スプライシング変異体が特定されています。

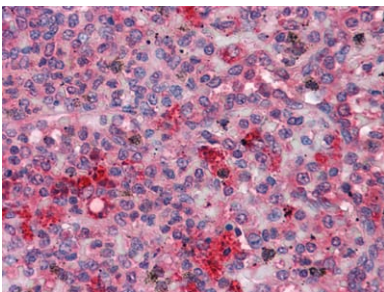
## 研究分野

-

## 画像データ



HL60 (1) Raw264.7 (2) 細胞溶解物に対する FGR マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



FGR マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト脾臓組織の免疫組織化学分析